



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 串田 守可

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 大野 博史

TEL 06-6538-7719

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	25,963	26.0	893		863		581	
2020年3月期第1四半期	20,605	2.0	252		285		280	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,012百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 337百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	47.73	
2020年3月期第1四半期	22.42	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	130,357	59,511	44.9
2020年3月期	134,216	58,876	43.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 58,512百万円 2020年3月期 57,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		30.00	60.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,000	8.5	1,800	88.1	1,800	83.0	1,200	202.4	98.46
通期	110,000	0.1	4,000	7.8	4,000	8.9	2,800	0.9	229.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	13,098,490 株	2020年3月期	13,098,490 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	910,195 株	2020年3月期	913,102 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	12,186,349 株	2020年3月期1Q	12,533,463 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式(2021年3月期1Q 30,262株、2020年3月期1Q 36,116株、2020年3月期33,189株)が含まれています。

なお、資産管理サービス信託銀行株式会社は、2020年7月27日に合併し、株式会社日本カストディ銀行となっております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、企業活動の停滞、個人消費の縮小など先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、営業・事務部門では在宅勤務等を推奨したことで事業活動に制限を受けましたが、工場の生産部門では、安全と健康を最優先にする対策を取った上で稼働を継続したことに加え、「機械システム事業」を中心に一定の受注残があったことから、「機械システム事業」「パイプシステム事業」などで出荷が増加したことにより、売上高は前第1四半期連結累計期間比5,357百万円増収の25,963百万円となりました。

損益面では、売上高増加に伴う増益に加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、移動を伴う営業活動を最小限に留めたことなどによる各種費用の減少も寄与し、営業損益は、前第1四半期連結累計期間比1,145百万円増益の893百万円の利益、経常損益は、前第1四半期連結累計期間比1,148百万円増益の863百万円の利益、親会社株主に帰属する四半期純損益は、法人税等を差し引き、前第1四半期連結累計期間比862百万円増益の581百万円の利益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門で出荷量が増加したことに加え、バルブ部門でも民需向けで出荷が堅調に推移したことなどで、前第1四半期連結累計期間比1,744百万円増収の11,455百万円となりました。

営業損益につきましては、鉄管部門、バルブ部門の増収に加え、原価改善に注力したことなどにより、前第1四半期連結累計期間比535百万円増益の318百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門で大型物件の出荷増に加え、大型工事進行基準物件の進捗が進んだことなどにより、前第1四半期連結累計期間比3,284百万円増収の7,196百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門の増収の影響などにより、前第1四半期連結累計期間比169百万円増益の84百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、化成品部門で電力向け製品の出荷が堅調に推移したことなどで、前第1四半期連結累計期間比328百万円増収の7,311百万円となりました。

営業損益につきましては、化成品部門の増収に加え、原価改善に注力したことなどにより、前第1四半期連結累計期間比284百万円増益の395百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、翌四半期以降の出荷に備え、商品及び製品などが増加した反面、大型物件の完工などにより仕掛品が減少し、債権の回収時期を迎え受取手形及び売掛金、電子記録債権が減少したことなどで、前連結会計年度末比3,859百万円減少の130,357百万円となりました。

一方、負債におきましては、生産が一段落し、債務の支払時期を迎え支払手形及び買掛金、電子記録債務が減少したことに加え、借入金の返済が進んだことなどで、前連結会計年度末比4,493百万円減少の70,845百万円となりました。

純資産におきましては、配当金の支払い、四半期純利益の計上による利益剰余金の増減、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末比634百万円増加の59,511百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により未定とさせて頂いておりましたが、本日2020年8月6日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

なお、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による発注延期や工事進捗遅延などの可能性が考えられますが、概ね順調に推移していることから変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,388	19,971
受取手形及び売掛金	34,837	31,191
電子記録債権	6,391	5,864
商品及び製品	10,445	11,365
仕掛品	8,868	8,075
原材料及び貯蔵品	2,605	2,544
その他	1,285	1,143
貸倒引当金	△152	△93
流動資産合計	84,669	80,062
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,787	13,787
その他(純額)	19,080	19,099
有形固定資産合計	32,867	32,886
無形固定資産		
その他	1,400	1,607
無形固定資産合計	1,400	1,607
投資その他の資産		
投資有価証券	8,423	8,894
その他	7,020	7,068
貸倒引当金	△164	△162
投資その他の資産合計	15,279	15,800
固定資産合計	49,546	50,294
資産合計	134,216	130,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,102	17,097
電子記録債務	10,767	9,694
短期借入金	20,670	20,430
1年内返済予定の長期借入金	2,375	1,575
未払法人税等	1,258	358
引当金	2,595	1,561
その他	7,555	8,105
流動負債合計	63,325	58,822
固定負債		
長期借入金	705	695
引当金	20	20
退職給付に係る負債	10,494	10,510
その他	792	796
固定負債合計	12,013	12,022
負債合計	75,339	70,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,873
利益剰余金	22,587	22,802
自己株式	△1,831	△1,826
株主資本合計	58,816	59,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	771	1,094
為替換算調整勘定	△4	△10
退職給付に係る調整累計額	△1,690	△1,608
その他の包括利益累計額合計	△923	△523
非支配株主持分	984	999
純資産合計	58,876	59,511
負債純資産合計	134,216	130,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	20,605	25,963
売上原価	15,689	20,098
売上総利益	4,916	5,864
販売費及び一般管理費	5,168	4,971
営業利益又は営業損失(△)	△252	893
営業外収益		
受取配当金	31	29
その他	56	50
営業外収益合計	87	80
営業外費用		
支払利息	34	34
その他	86	75
営業外費用合計	121	110
経常利益又は経常損失(△)	△285	863
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	0	6
その他	65	0
特別損失合計	66	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△352	857
法人税、住民税及び事業税	105	391
法人税等調整額	△157	△146
法人税等合計	△52	245
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△300	612
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	31
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△280	581

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△300	612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107	323
為替換算調整勘定	△0	△5
退職給付に係る調整額	70	81
その他の包括利益合計	△37	400
四半期包括利益	△337	1,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△318	981
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,710	3,912	6,982	20,605	—	20,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	0	22	60	△60	—
計	9,747	3,912	7,005	20,665	△60	20,605
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△217	△85	111	△190	△61	△252

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△61百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントが負担する販売管理費、一般管理費、試験研究費の配分差額△97百万円及びたな卸資産の調整額28百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,455	7,196	7,311	25,963	—	25,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	13	5	47	△47	—
計	11,483	7,210	7,316	26,010	△47	25,963
セグメント利益	318	84	395	798	94	893

(注) 1 セグメント利益の調整額94百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントが負担する販売管理費、一般管理費、試験研究費の配分差額76百万円及びたな卸資産の調整額18百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。